

第7回 日本の貿易 基本問題

- 1 かつての日本の貿易の特色は、()や燃料を輸入し、()を輸出する()貿易でした。
- 2 1985年以後、()を背景に、機械などの()の輸入が増え、輸入額全体の半分ほどをしめています。
- 3 日本の会社が、海外の工場で生産した製品を輸入することを()といいます。
- 4 かつて長い間、輸出入ともアメリカが最大の相手先でしたが、近年は()となっています。
- 5 現在の輸出品の第1位は機械類で、第2位は()です。
- 6 輸入品の第1位は機械類で、第2位は()、液化天然ガス、衣類と続きます。
- 7 日本は長い間貿易()でしたが、2011年～2015年までは輸入額が輸出額を上回り、貿易()となりました。
- 8 7の原因は、産業の()に加え、()の影響で自動車や電子部品の輸出が減ったことや、原子力発電の停止分の火力発電所の燃料である()の輸入が増えたことなどです。
- 9 小麦・大豆・とうもろこしなどの穀物は、()からの輸入にたよっています。
- 10 野菜と魚介類は、()から最も多く輸入しています。
- 11 日本が輸入している自動車の約半分は、()からのものがしめています。
- 12 鉄鋼は、中国や()など、アジアの国々に輸出されています。
- 13 船舶は、船にかかる税金の安い()・リベリアなどに輸出されています。
- 14 ()空港の輸出入品の上位には、半導体などの、小型で高価なものが多く見られます。
- 15 名古屋港や横浜港は、港のある県に大工場があるため、()の2大輸出港となっています。
- 16 食料品や衣類などの輸入が多い港は、()、大阪、神戸などの大消費地に近いところです。
- 17 自動車の輸出先は1位が()で40%近くをしめ、2位オーストラリア、中国と続きます。
- 18 電子部品の輸出先は1位が()、2位台湾、香港と続きます。
- 19 日本の円やアメリカの()など、ある国で使われているお金を()といいます。
- 20 日本と特にアメリカ合衆国との間には、()といわれる経済上の対立がありました。
- 21 20をさけるために、自動車会社の場合、輸出台数を制限する自主規制やアメリカに工場をつくり()をするようになりました。
- 22 1970年代の初めまで1ドル()円と決められていました。現在は交換比率(為替)が変動します。たとえば、1ドル120円が1ドル100円になることを()ドル安といいます。
- 23 22のような状態になると、一般に自動車など輸出中心の会社にとっては不利で、原油や石炭などを()する時は有利になります。
- 24 関税を引き下げたり、貿易上の制限をなくすことを、貿易の()といいます。
- 25 大きさが決まった箱形の()に貨物を入れると大量に輸送ができるため、港には()がつけられています。専用船を()といいます。